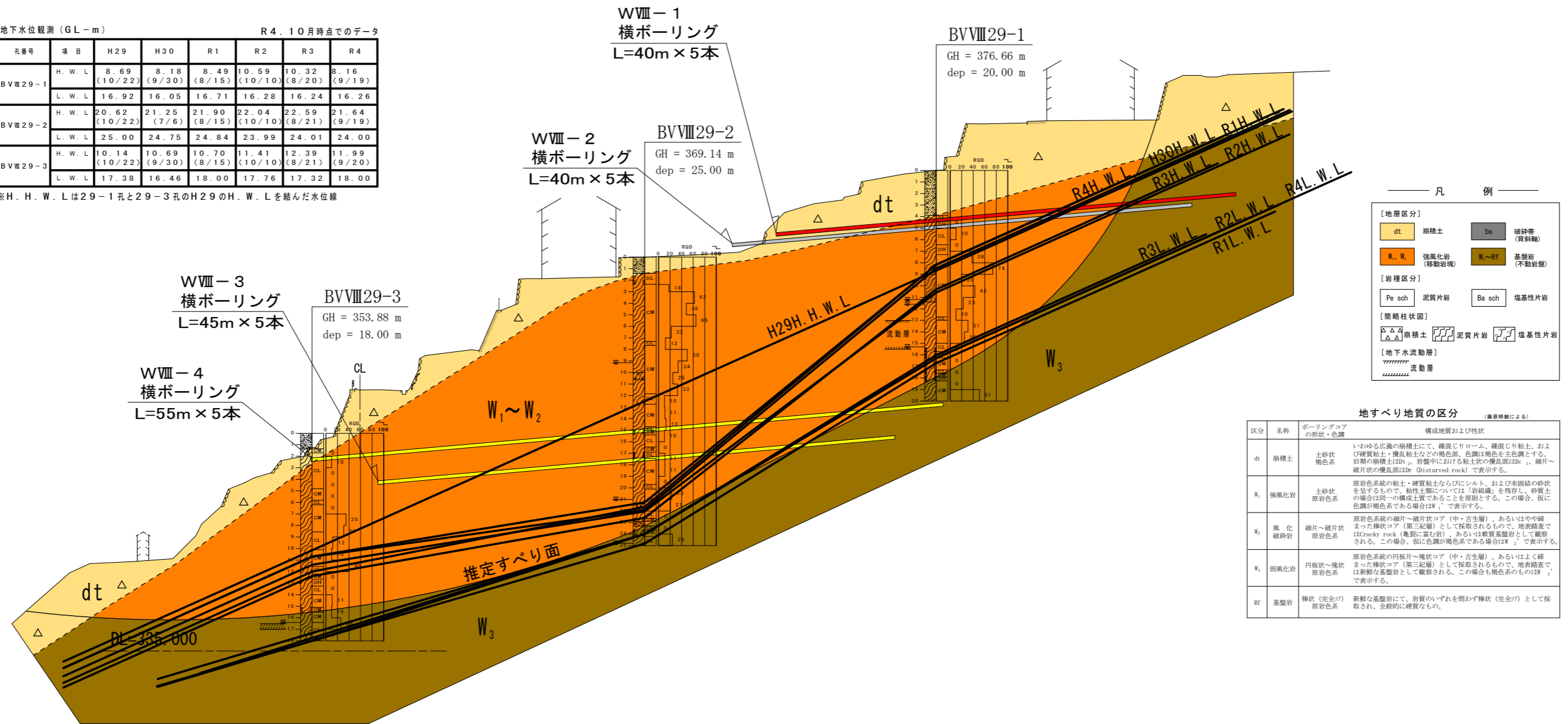


工事名	R6市 張地すべり 吉・奥郷 地すべり対策工事(1) (崖手掘削型)		
路線名等	張地すべり防止区域		
工事箇所	吉野川市美郷字張(第1分割)		
図面名	平面図		
縮尺	1/500	図面番号	1 / 3
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<吉野川>		

地下水観測 (GL-m) R4. 10月時点でのデータ

孔番号	項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4
BVⅧ29-1	H.W.L	8.69 (10/22)	8.18 (9/30)	8.49 (8/15)	10.59 (10/10)	10.32 (8/20)	8.16 (9/19)
	L.W.L	16.92	16.05	16.71	16.28	16.24	16.26
BVⅧ29-2	H.W.L	20.62 (10/22)	21.25 (7/6)	21.90 (8/15)	22.04 (10/10)	22.59 (8/21)	21.64 (9/19)
	L.W.L	25.00	24.75	24.84	23.99	24.01	24.00
BVⅧ29-3	H.W.L	10.14 (10/22)	10.69 (9/30)	10.70 (8/15)	11.41 (10/10)	12.39 (8/21)	11.99 (9/20)
	L.W.L	17.38	16.46	18.00	17.76	17.32	18.00

※H.W.Lは29-1孔と29-3孔のH29のH.W.Lを結んだ水位線



凡例

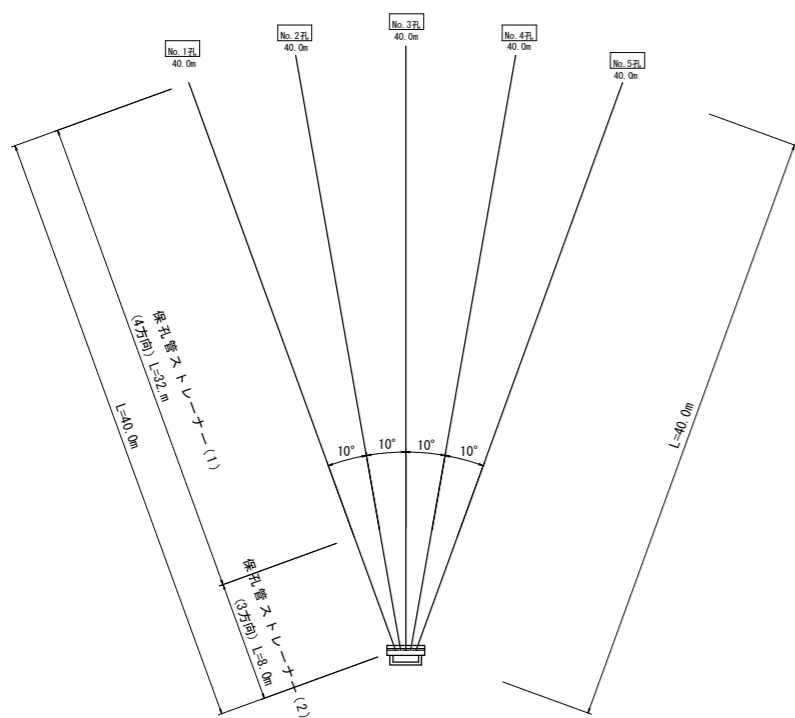
dt	崩積土	bs	破砕帯 (背斜軸)
W <sub>1</sub> , W <sub>2</sub>	強風化岩 (移動岩塊)	W <sub>3</sub> ~R <sub>4</sub>	基盤岩 (不動岩盤)
Pe sch	泥質片岩	Ba sch	塩基性片岩
△△△	崩積土	□□□	泥質片岩
□□□	泥質片岩	□□□	塩基性片岩
~~~~~	地下水流動層		
~~~~~	流動層		

地すべり地質の区分 (標準規範による)

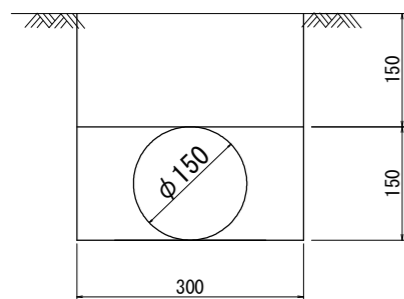
区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、雑混じりローム、雑混じり粘土、および硬質粘土・擾乱粘土などの褐色部、色調は褐色を主色とする。旧期の崩積土はD <sub>1</sub> 、岩盤中における粘土状の擾乱部はDe、細片～破片状の擾乱部はDr (Disturbed rock) で表示する。
W <sub>1</sub>	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩色系の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を残存し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW <sub>1</sub> で表示する。
W <sub>2</sub>	風化破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩色系の細片～破片状コア (中・古生層)、あるいはやや締まった棒状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表露出ではCrackly rock (亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW <sub>2</sub> で表示する。
W <sub>3</sub>	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩色系の円板状～塊状コア (中・古生層)、あるいはよく締まった棒状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表露出では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW <sub>3</sub> で表示する。
R <sub>1</sub>	基盤岩	棒状 (完全?) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず棒状 (完全?) として採取され、全般的に硬質なもの。

工事名	R6吉土 張地すべり 吉・美郷強 地すべり対策工事(1) (旧い手掘り型)		
路線名等	張地すべり防止区域		
工事箇所	吉野川市美郷字張(第1分割)		
図面名	縦断面		
縮尺	1/200	図面番号	2 / 3
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(吉野川)		

横ボーリング工 配置図 S=1:250

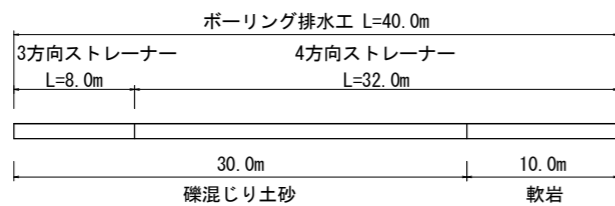


流末処理 S=1:5



1m当り		
種別	名称	数量
土工有	床掘	0.09 m3
	埋戻	0.07 m3
	暗渠 (φ150)	1.00 m

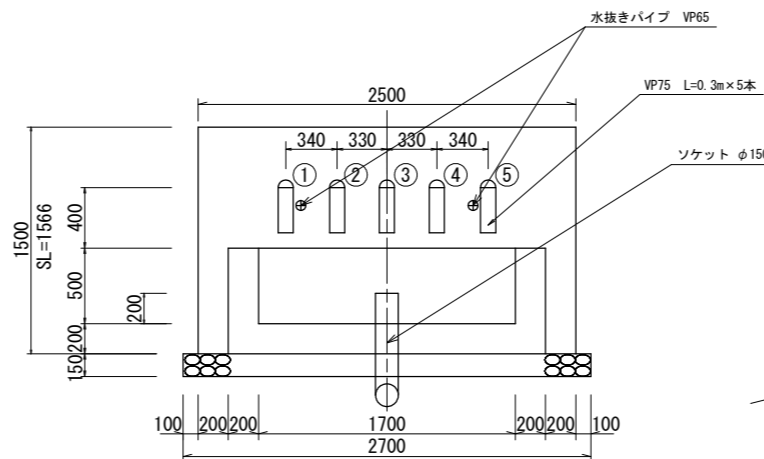
横ボーリング工 S=1:250



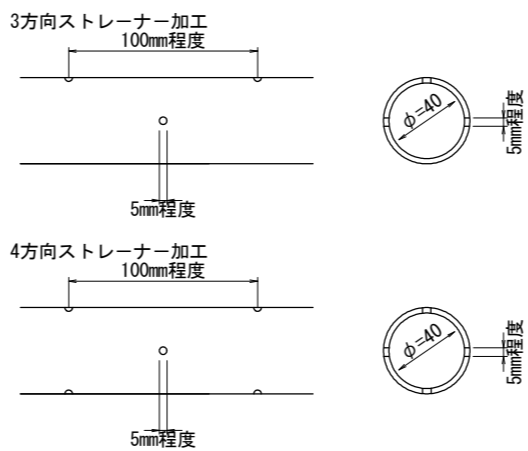
横ボーリング工数量 (40m×5列)

内訳	数量	総延長
削孔径 φ90mm以上		
仮設足場 傾斜地	8.10空m3	
削孔数量	礫混じり土砂 : 30.0m×5本	150.0m
	軟岩 I : 10.0m×5本	50.0m
保孔管	ストレーナー加工 : 3方向 : 8.0m×5本	40.0m
	ストレーナー加工 : 4方向 : 32.0m×5本	160.0m

横ボーリング工構造図

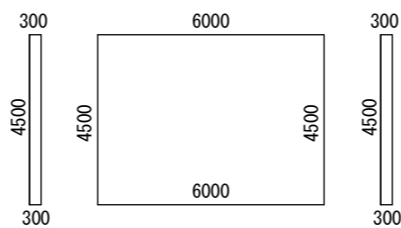


保孔管ストレーナ S=1:2



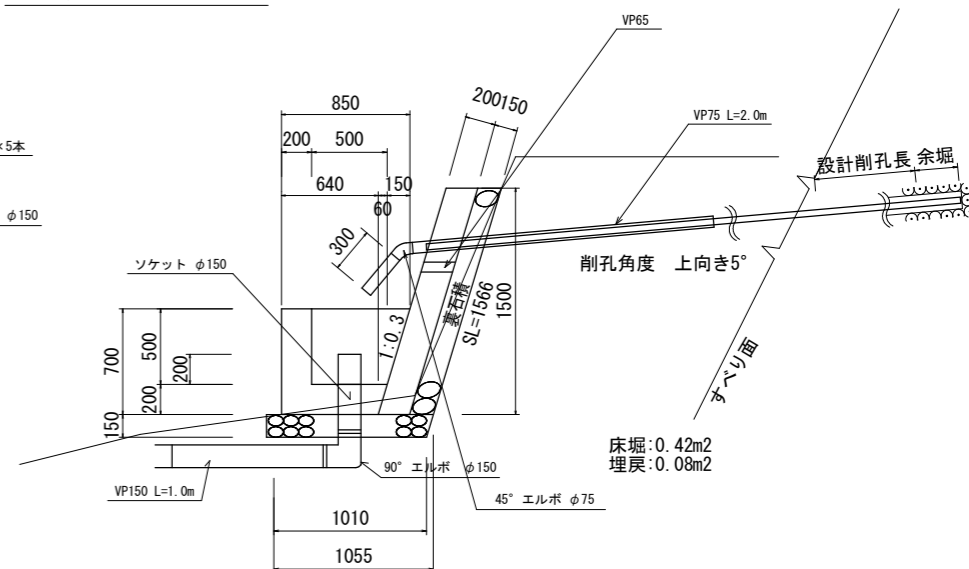
ストレーナーは適切なジョイントにて堅固に接合すること。  
ネジ式で接合する際は、開口方向のズレに留意して、  
堅固に接合できない場合は、ジョイントを用いること。

仮設足場 S=1:100



$$V = 1/2 \times [1/2 \times (0.30+0.30) \times 4.50 + 1/2 \times (0.30+0.30) \times 4.50] \times 6.00 = 8.1 \text{ 空m}^3$$

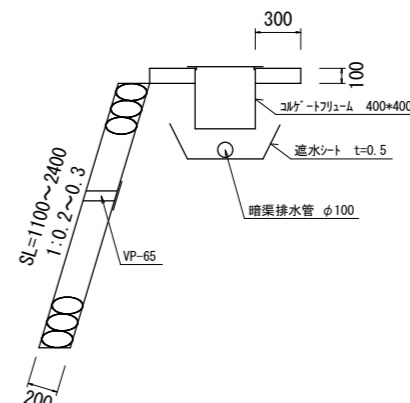
孔口処理工 S=1:25



孔口処理工数量 (1箇所あたり)

種別	算式	単位	数量
床掘	$0.42 \times (2.7+0.5)$	m3	1.34
埋戻	$0.08 \times (2.7+0.5)$	m3	0.26
張コンクリート	$0.2 \times 1.566 \times 2.5$	m3	0.78
同上型枠	$1.566 \times 2.5 + 0.2 \times 1.566 \times 2$	m2	4.54
裏石積	$1.566 \times 2.5 \quad (t=0.15m)$	m2	3.92
集水桁コンクリート	$1/2 \times (0.85+0.64) \times 0.7 \times 2.1 - 1/2 \times (0.65+0.50) \times 0.5 \times 1.7$	m3	0.61
同上型枠	外枠 : $1/2 \times (0.85+0.64) \times 0.70 \times 2 + 0.7 \times 2.10 =$ 内枠 : $1/2 \times (0.65+0.44) \times 0.70 \times 2 + 0.7 \times 1.70 =$	m2	4.47
基礎碎石	$1/2 \times (1.105+1.060) \times 2.7 \quad (t=0.15m)$	m2	2.92
塩化ビニールパイプVP75	$(0.3+2) \times 5$	m	11.5
45° エルボφ75	(各孔口に使用)	個	5
ソケットφ150	(流末処理工に使用)	個	1
90° エルボφ150	(流末処理工に使用)	個	1
塩化ビニールパイプVP150	$1+0.2$ (流末処理工に使用)	m	1.2
水抜きパイプ VP65	$0.209 \times 2$	m	0.42

石積工 S=1:100 撤去・復旧



工事名	R6吉土 張地すべり 吉・奥張 地すべり対策工事(1) (崖いすべり対策)		
路線名等	張地すべり防止区域		
工事箇所	吉野川市美郷字張(第1分割)		
図面名	構造図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 3
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<吉野川>		